

## ベトナムFW 8/3～8/5 水班報告

国際科の水班4名(岡野、小川、木村、木山)は8月3日から5日までの3日間、ベトナムのハロン、ハノイにおいてフィールドワークを行ってきました。到着当日、水班は空港から車で約4時間のところにあるハロン湾を訪れました。

### 1日目 (マングローブ再植林・水上村視察・現地小中学校見学)



FW1日目の朝は、台風接近の影響であいにくの雨でしたが、大阪府立大学の犬塚先生と大学院生の皆さんと合流し、ハロン湾にあるダウゴー島でマングローブの再植林を行いました。潮が引いている時間とはいえ、ぬかるんでいる沼地で持参した足袋を履いて

の作業となりました。その後は水上村の視察を行い、現地の小中学校(併設)の環境教育授業の見学を行ってきました。

### 2日目 (ハロン→ハノイ)



2日目はハロンからハノイへの移動が主でしたが、前日の大雨のために一部道路が冠水し、反対車線を通ってその部分を抜けることとなり、また都市部でも車よりもバイクの交通量の多さが目に留まり、交通事情だけでも日本との大きな違いを再認識させられました。

### 3日目 (ハノイ市内フィールドワーク)

3日目の午前にはJICA(国際協力機構)の若公専門家、午後は同安達専門家の案内のもとハノイ市内でフィールドワークを行いました。FWではいくつかの現地の河川を巡り、水質の検査を行うCODパックテストや下水処理場を訪れました。またFW後はJICAのオフィスにてスタッフの桂井さんと安達専門家による、ベトナムにおいてのこれまでのJICAの取り組みと現在の世界の水問題についての講義の後、意見交換会を行い、FW中に感じた疑問や各班員のSGH研究についての助言を頂きました。



今回の研修で知ったこと、気づいたこと、学んだことは数多くあり、たくさんの刺激を受けました。このことをそれぞれの今後のSGH研究、ひいては今後の生活に活かしていきたいと思えます。